

第1回 山形デジタル道場（R2.11.27） 要旨

【講義1】「Yamagata 幸せデジタル化構想」（中間とりまとめ）について

（山形県 小林みらい企画創造部長）

- ◎「Yamagata 幸せデジタル化構想」（中間とりまとめ）の基本的な考え方は「最新のデジタル技術の促進活用をすすめるだけでなく、既に広く普及している技術を工夫して使うことで、簡単にデジタル化の恩恵を受けることができる」というもの。
- ◎「幸せデジタル化の理念」は「県・市町村」「暮らし」「仕事」「余暇」の4分野におけるデジタル化を柱とし、「子供から高齢者まで誰一人とり残すことなくデジタル化の恩恵を受けることができる」という、県民の幸せを中心に据えたデジタル化を目指すということ。

【講義2】自治体 DX について（対談）

（NTT 東日本 渡会山形支店長 × 山形県 小林みらい企画創造部長）

- ◎山形デジタル道場の開催を提案したのは、山形県のデジタル化を進めるにあたっては、けん引役を果たすべき自治体におけるデジタル化を進める必要があると考えたため。全国的に見ても市町村職員のテレワークは様々な課題があり進んでいないが、素晴らしいアイデアを実行するにあたって、自ら実施していないことを他者にすすめるのは難しい。デジタル化は導入してすぐに効果が出る魔法の杖ではないが、デジタル化に向けた大きな流れが止まらない現状において、まずは自らデジタル技術を使ってみた上で評価することが重要。（渡会支店長）
- ◎県におけるオンライン会議の実施件数は5月以降右肩上がりに増加中。新型コロナ感染拡大により、出張の代わりにオンライン会議を実施してきた結果、実際に使ってみて便利さを実感したことが実施件数の増加につながっている。便利さを実感することでデジタル化が進むのではないかと。（小林部長）

【講義3】デジタル化取り組み事例について

（酒田市 本間企画部情報企画課長（兼）デジタル変革戦略室長）

- ◎酒田市における DX 推進のきっかけ：新型コロナ感染拡大及び人口減少や高齢化が将来市民生活に及ぼす影響に対する解決策として市長がデジタル変革を選択。
- ◎DX 推進にあたり、①「地域」「住民サービス」「行政（内部）」のデジタル変革を柱とした酒田市デジタル変革戦略の策定、②戦略推進体制のトップとしてCDOに外部人材を登用、③戦略推進体制の事務局としてデジタル変革戦略室を新設、④市、NTT データ、NTT 東日本、東北公益文科大学の4者によるDX 推進に関する連携協定の締結、を実施。
- ◎具体的な取組として、①カードリーダーの購入助成、②オンライン申請促進キャンペーン、③LINE を利用した情報発信、を実施